

令和1年10月3日付・山陰中央新報

日本人が中学校や高校で学んでいるのはほとんどが英語だ。しかし、公用語が英語ではない外国人は、山陰でも身近に数多く暮らしている。例えば出雲市には3500人超のブラジル人が在住。英語は通じず、母国語や易しい日本語でのやりとりを希望するケースは多い。

山陰両県に住む1万3000人の外国人の中で

ブラジル人

スキンシップ積極的

ブラジル人は初対面のときの身ぶりは握手程度で、日本人とさほど変わらないが、フレンドリーな人はハグもする。基本的にはスキンシップに積極的で、2回目にはハグや頬にキスをする人が多い。

仲良くなると家族のように接してくれる。自宅を訪れると手厚い料理でもてなしてくれるなど、情に厚い。

初対面で「今度家に来てね」という言葉は社交辞令ではない。たとえ突然訪問したとしても、歓迎してくれるだろう。

母国語のポルトガル語については、日本人の発音が正確でなくても、意をくみ取ってコミュニケーションを取ってくれる。肩肘張らずに気楽に口に出してみよう。

(岩崎美保子・しまね国際センター、談)

～山陰で暮らそう～

多言語で話したい!



初対面の人とのあいさつ

(ポ) はじめまして
Muito praze
ムイト・プラゼール

(中) こんにちは 会えてうれしいです
你好 很高兴认识你
ニーハオ ハンガオ シンレン シー コー

(ベ) こんにちは
Xin chào
シン チャオ

(イ) はじめまして
Perkenalkan
フルクナラカン

(タ) はじめまして
Ikinagagalak kitang makilala
イキナガガラク キタン マキララ



※(ポ)…ポルトガル語、(中)…中国語、(ベ)…ベトナム語、(イ)…インドネシア語、(タ)…タガログ語

も、人数が多い5カ国語(ブラジル、中国、ベトナム、インドネシア、フィリピン)の簡単なフレーズを音声付きで毎週紹介する。しまね国際センター(松江市東津田町)の職員や島根県立大学(同市浜乃木7丁目)の塩谷もも准教授の協力を受け、各国の文化や習慣も、コラムで橋渡しする。

あいさつ 国によって違う

表れているとも言える。国によつては「初めまして」という特別な言い回しがなく、ベトナムの「会えてうれしいです」とあいさつしたりする。ちかえ

初対面の人に出会った時。日本人ならどうも、初めましてとお辞儀をしながらあいさつするのが定番だが、そのしぐさは控えて謙虚な国柄が

① 初対面

音声はこちら↓



外国の方に関わる相談や情報提供は

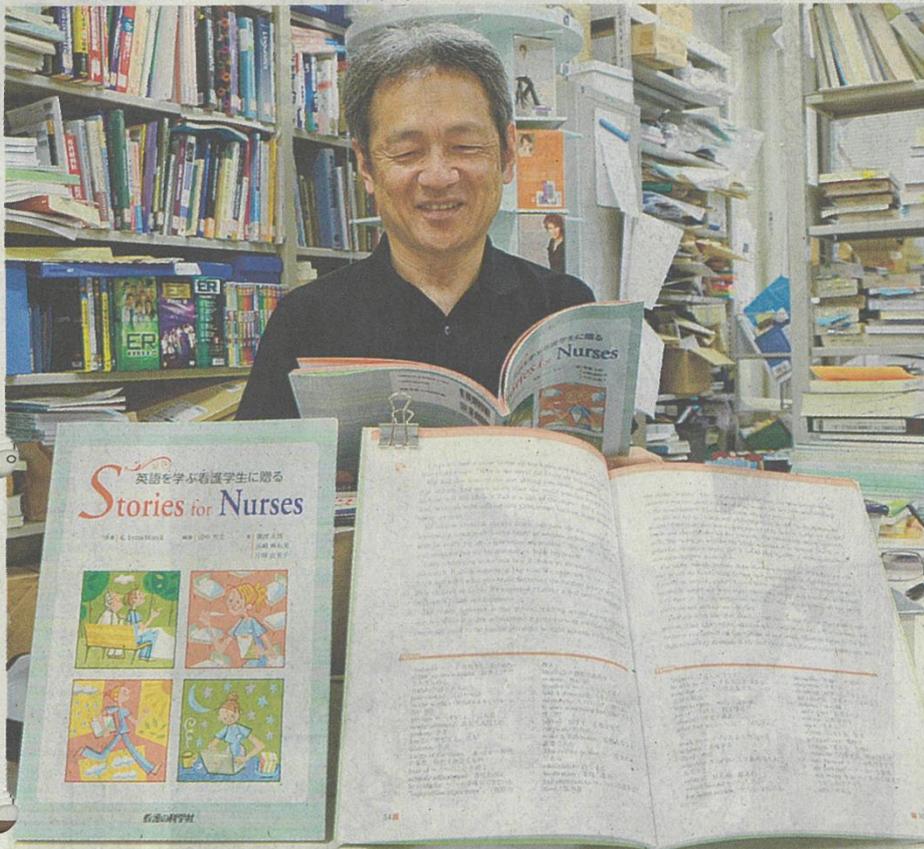
■しまね国際センター
相談専用ダイヤル
070-3774-9329

英語で学ぶ 看護の心

学生向けテキスト発刊

県立大 言語学力アップ「一石二鳥」
田中教授ら

看護師と患者の心の交流を描いた物語などを英語で紹介した看護学生向けのテキストを、島根県立大の田中芳文教授(58)らが編集し、看護の科学社(東京都)から発刊した。語学とともに看護の心を育てる一石二鳥の内容で、今月から同大看護栄養学部看護学科の授業で活用している。(坂本彩子)



看護学生向けの英語テキストを編集した田中芳文教授

英語学・社会言語学が専門の田中教授は2002年以降、看護学生を対象とした英語テキストを自ら編集。12冊目となる今回は、愛知県立大看護学部や日本赤十字秋田看護大の教員らと協力して制作した。

テキストは「英語を学ぶ看護学生に贈るStories for Nurses」と題し、心温まる物語を集めた米国の書籍「このころのチキンスープ」シリーズの看護師編(39話収録)から、文章の長さや内容を考慮して15話を選定。クリスマスに入院患者を見舞った家族の話や、看護師としてふさわしい態度、新人看護師との向き合い方を説いたエピソードを収録した。

本文は英文のみで構成し、難しい英単語の説明や文章の理解度を問う練習問題を別に付けた。田中教授は「英語を学びながら、看護する喜びや文化の違いを感じ取ってほしい」と話している。B5判、101ページ、2420円。

多民族国家のインドネシアは、自分と異なる考えや文化などを受け入れるふところの深さを持ち合わせている。民族の言葉と公用語のインドネシア語を使い分け、民族や宗教の違いを乗り越えて生活している。

初対面のときは握手をするが、注意したいのが異性同士での握手だ。宗教上の理由から、男性と握手をしない女性もいる。指先にだけ触ったり、手を触れずに胸の前で手を合わせ

インドネシア人

あいさつの仕方に要注意

たりと、相手に合わせて変えなければならぬ。

親しくなると同性同士、特に女性同士では頬を付け合いあいさつをする。親しみの深さや相手への配慮で、あいさつの仕方が大きく変化するのはインドネシアならではの。

手を差し出すときは、必ず右手を。左手は不浄の手とされており、左手から差し出すと相手に不快感を与えてしまうので、要注意だ。
(島根県立大学・塩谷もも准教授、談)

別れのあいさつ

- (ポ) またね
Ate logo
アテ ロゴ
- (中) さよなら
再见
ザイ ジェン
- (ベ) またね
Hen gap lai
ハン ガッライ
- (イ) またね
Sampai jumpa lagi.
サンバイ ジュンバラギ
- (タ) またね、気を付けてね。
O sige, ingat ka.
オシゲ インガトカ



※(ポ)…ポルトガル語、(中)…中国語、
(ベ)…ベトナム語、(イ)…インドネシア語、
(タ)…タガログ語

(イラスト・たかはしちかえ)

～山陰で暮らそう～

多言語で話したい!



またね

日本人の普段の会話で「さよなら」を使うことは意外に少ない。むしろ英語を語源とした「バイバイ」のような気軽なあいさつを使うことが多いだろう。
軽い感じで別れを告げる言葉は他国にも多い。
中国では、日本と同じく「バイバイ」を使う。表記は「拜拜」で、親しい仲なら普通に使う。フランスでは、イタリヤ語の気さくなあいさつ「チャオ」を語源とした「Tchau」(チャウ)が身近な言葉だ。相手との距離を縮めるためにも、使ってみよう。
|| 毎週木曜掲載 ||

音声はこちら↓



外国の方に関わる相談や情報提供は

■しまね国際センター
相談専用ダイヤル
070-3774-9329